

2011年4月発行 / 第28号 / 2号
APRIL 2011 • VOLUME TWENTY-EIGHT • NUMBER TWO



それなりの階段を踏む

WCNA 34 最新情報

「NAの未来像」に投資しよう

神なしで回復の道を歩む



世界中で読まれている NA の定期刊行物

NA Way マガジンは、ナルコティクス アノニマスのメンバーのための雑誌であるため、英語、ベルシャ語、フランス語、ドイツ語、ポルトガル語、スペイン語など、さまざまな言語で出版されている。そしてこの雑誌の使命は、ひとりひとりのメンバーに回復とサービスに関する情報を提供することであり、そこには回復にまつわる喜びだけでなく、現在 NA で問題となっていることや世界中の NA メンバーのだれにとっても見過ごせないイベントなども取り上げている。編集スタッフはこのような使命に従い、世界中のメンバーが特集記事をはじめとするさまざまな記事を書いて、自由に載せられる雑誌にしようとするのはもちろん、現在行われているサービスやコンベンションに関する情報を提供することにも力を注いでいる。だが、これが定期的にメンバーに届く雑誌であるからには何よりもまず、『アディクトであれば、どんなアディクトであっても、薬物を使うのをやめることができ、使いたいという欲求も消え、新しい生き方を見いだすことができる』という NA の回復のメッセージをたたえることにこそ力を注ぐ。

NA World Services, Inc.
PO Box 9999
Van Nuys, CA 91409 USA
Telephone: (818) 773-9999
Fax: (818) 700-0700
Website: www.na.org

NA Way マガジンでは、読者のみなさんが参加されるのを待っている。この年に4回発行される定期刊行物によって、ぜひ、世界中の仲間たちと分かち合いをしていただきたい。回復するなかでの経験はもちろんなこと、NA のさまざまなことに関する意見や、これからの課題などについても投稿をお待ちしている。ただし、投稿された原稿はどれもみな、ナルコティクス アノニマス ワールドサービス社に所有権があるものとされる。購読の予約、編集に対する意見のほか、著作権など実務的なことでの相談は、PO BOX 9999, Van Nuys, CA 91409-9099 にお問い合わせいただきたい。

NA Way マガジンは、NA メンバーがそれぞれに自分で経験したことや自分なりの意見を紹介する雑誌である。ここには NA 全体の意見は表明されていない。そしてもちろん、ナルコティクス アノニマス、NA Way マガジンまたはナルコティクス アノニマス ワールドサービス社によって支持されていると受け取れるような記事も掲載されていない。また、インターネットから NA Way マガジンを配信することを希望する場合には、上記のアドレスに手紙をいただくか、naway@na.org に e メールをいただきたい。

NA Way マガジン (The NA Way Magazine : ISSN 1046-5421)、NA Way (The NA Way)、ナルコティクス アノニマス (Narcotics Anonymous)、この3つは、ナルコティクス アノニマス ワールドサービス社のトレードマークとして商標登録されている。NA Way マガジンは、ナルコティクス アノニマス ワールドサービス社 (19737 Nordhoff Place, Chatsworth, CA 91311) によって、年に4回発行される。

2 The NA Way Magazine

編集者から、ひとこと

今月の NA Way マガジンは、世界のさまざまな地域に変化と混乱がみられるなかで発行される。私たちは NA メンバーとしては外部の問題にかかわらないにしても、自分たちを取り巻く世界で起きていることと無縁ではいられない。NA を一歩離れれば、私たちはひとりの人間だ。特定の主義主張を支持してもおかしくはないし、経済不況に悩まされもするだろう。我が身に災難がふりかかることもあれば、自然災害に見舞われたりすることだってある。それでも、私たちが回復の道を歩むアディクトとして心をひとつにするとなれば目指すことはひとつ、NA の回復のメッセージを運ぶことだ。私たちはみな、それぞれに自分なりの考え、希望、期待などを持ち寄って NA につながり、みんなの回復や NA のために役立てようとする。しかし、実際に NA で歩む回復の道は、スポンサーや仲間たちや NA の文献から学ぶことや、自分なりにステップを実践してスピリチュアルな信念を身につけていくことによって築かれるものなのだ。私たちが自分の意見、優先順位、価値観などをしりぞけるためには、ある程度の努力を必要とする。だが、それによって私たちは NA の回復の原理や、まだ苦しんでいるアディクトにメッセージを運ぶというはっきりとした目的に照準を合わせ、サービスに打ちこむことができるのだ。というわけで、今月号では、『NA のステップ、伝統、概念』と「NA のサービスにたくす未来」にしっかりと目を向けてみよう。

ド・J (エディター)

NA のサービスにたくす未来

NA グループがなにをにおいてもまず、NA の回復のメッセージを運ぼうとしていれば、ナルコティクス アノニマスの努力はかならず実を結ぶのだ。このような共通の立場で、私たちは全力を尽す。

私たちが心に描く未来は、いつの日か・・・

- ・ 世界中のアディクトがみな、自分の話す言葉でわかりやすく書かれた NA のメッセージを目にする機会に恵まれ、それが新しい生き方に踏みだすきっかけになること。
- ・ ひとりひとりのメンバーが、回復という神の恵みを与えられることによって、スピリチュアルな成長を遂げながらサービスによる充実感をあじわうこと。
- ・ 世界にひろがる NA のサービス機関が協力をおしまず心をひとつにして取り組み、一丸となって NA の回復のメッセージを運んでいる世界中の NA グループを支援していくこと。
- ・ ナルコティクス アノニマスが、実行可能な回復のプログラムであると世界で広く認められ、信頼されるようになること。

正直さ、信頼、そして善意があれば、私たちのサービスへの取り組みはゆらがないものになる。この3つによって、私たちは愛情あふれるハイヤーパワーが導いてくれることを信じて疑わないからだ。

今月号の掲載記事

特集記事

・ かわいい子には旅をさせろ 3

Picture you 4

わかちあい

・ ステップ 11 5

・ それなりの手順を踏む 6

・ ステップ 8 6

・ 許しを得る 7

・ 神なしで回復する 7

・ 国を守り、NA に守られる 8

サービスシステム プロジェクト 9

「私たちの未来像」に投資しよう 10

Living Clean Project Update 12

グループ紹介 13

2010 NA Literature Survey 13

Public Relations 14

第34回 NA ワールド コンベンション最新情報 15

Calendar 17

NA Way Magazine subscription 18

ユーモア『マリア・パポイラ』 18

NAWS Product Update 19

NA Way マガジンでは、読者のみなさんからののお便りをお待ちしている。掲載された記事に対する感想はもちろん、NA という集まりのなかで取り上げられている問題についてひとつの考え方を示すにすぎないものであっても、エディター宛に送っていただきたい。300字以内にまとまっていれば、そのまま編集の手を加えずに掲載されることになっている。お便りには、本名、現在使われている住所および電話番号を明記することをお忘れなく。掲載される場合には、アノニマスでという希望がないかぎり、ファーストネームと苗字のイニシャルを署名として用いることになる。



かわいい子には 旅をさせろ

わたしはNAにつながって何年もしてから、生きることが試練(しれん)のような時期をむかえた。まったく嫌になるほど長い間、これでもかこれでもかと失敗をかさねた。そして不幸にも、そんなわたしの住む地域のグループでは、「もっともらしいわごと」と言いたくなるような考えが幅をきかせていた。その考えによれば、クリーンになっても人生がままならないのはプログラムをしっかりとやっていないからだ、ということになる。つまり、わたしの試練(しれん)はアディクションのなせるわざで、自業自得(じごうじとく)というわけだ。わたしは孤独感(こどくかん)を深めてヤケになり、ミーティングに行くのをやめた。そのときにはもちろん、恨(うら)みをどっさり抱えていた。

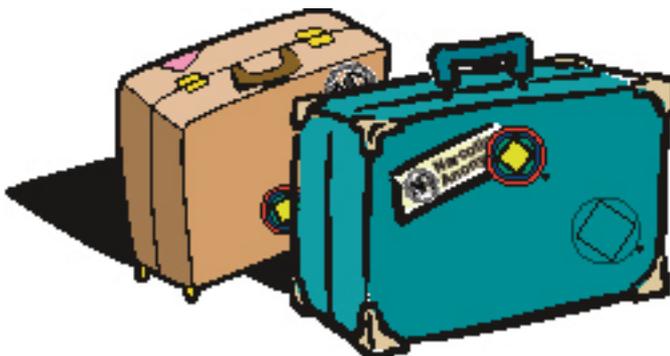
そんなわたしに、ハイパーパワーからまたもや試練(しれん)が与えられた。今度は、会社の出張で、わたしが苦手とする同僚たちと一緒にだ。しかも会社は、異国の地で社員たちがみじめな思いをしないようにと、毎晩いろんな楽しみを用意するという心づかいを示してくれた。おかげで、わたしは一週間ぶっ通しで、昼も夜も、仕事が終わって寝るまでの間さえも、みんなと一緒にホテルに閉じこめられることになってしまった。これじゃ、拷問だ。飛行機と一緒に乗っていただけでだって苦痛なのに、それでは足りないとはかりに空港からホテルに着くまで何時間も車にすし詰めになされたあげく、ホテルの廊下でもみんなの声を聞くんだ。それって、まるでストーカーされてるのと同じじゃない。考えただけでゾッとする。

まったくお先真っ暗だった。こんな状況をただただ堪(た)え忍ばなくちゃならないなんて。わたしはクリーンであることに嫌気がさしてきた。この時点で、アディクションの思うつぼにはまりかけていることに気づき、すぐにでも行動しなくちゃいけないとわかった。そこへ、インターネット版のNA Way マガジンが配信されてきた。すっかり動揺していたわたしは、これ幸いとプライドを捨てて(自分ではそうしたつもりだけど)、NAワールドサービスに連絡をして出張先のエリアにあるNAの連絡先を教えてもらった。

だが、実際に連絡したのは現地に着いて3日後のことだった。その3日間、わたしは同僚の女性とのつきあいでほとんどウンザリさせられた。この女性は、同僚たちのなかでは一番ましな人物だったが、バーだとか何だとかわたしが行きたくないところばかり行きたがるのだ。それもしつこく誘ってくるので、わたしは思いつかぎりの言い訳をして振り切った。そんなことをしていたら、わたしは外国で暮らしていくのはどうてい無理な人間にみられてしまった。悔しいったらありやしない。こうみえても、この国には昔住んでたことがあるんだから。でも、あのときはあのときで、使っていたから、アディクトの生きざまをさらけ出すことになってしまったけどね。

わたしはようやく覚悟を決め、教えてもらった番号に電話した。考えることがかなり病的になっていたので、相手にしてもらえなかったらどうしようと思った。それが一番怖かった。でも、電話に出た男性は、ミーティングに行くなら車で迎えに行こうかと言ってくれた。わたしは溺(おぼ)れるところを救われたような気がした。まったく、こしばらくこんな嬉しかったことはなかった。だからといって、そこまで甘えるわけにはいかない。そう言うと、この男性は「何をバカなこと言ってるんだ。さあ、何時に迎えに行こうか」と聞いた。うそみたい。わたしはすっかり元気になった。

そして、わたしは意気揚々(いきようよう)として同僚たちに言った。「今夜は家族と会わなければならないので失礼するわ。他のみんなにもよろしくね」。うそじゃない。NAの仲間は、家族だ。でも、実際にそんなふうに思ったのは、回復の道を歩むなかではじめてだった。こうして毎日夜になると、NAの「スティーブ」が車で迎えに来てくれたので、わたしは仲間たちとの素晴らしい出会いに恵まれた。ミーティング場には、回復の雰囲気があふれていた。NAのメッセージも、まったく新しい視点から理解することができた。わたしは救い出されて間もないせいか、つながりたてのメンバーのようなものだった。このとき出席したミーティングのひとつでは、第6版の『ベーシックテキスト』をいただいた。別のミーティ



ングでは、バースデーのお祝いがあり、スピーカーの話を聞きながら、いかにもアメリカっぽいデコレーションケーキ（わたしの国ではめったにお目にかかれないもの）を味わった。スティーブは、奥さんとNAの友人である「ジョン」を紹介してくれた。そしてまた、バンドのライブを楽しめるレストランに連れていってもらったときには、演奏していたバンドのメンバーのひとりが、去りぎわに深紅のカーネーションを一輪くれた。それも、「アメリカの古い習慣のひとつだよ」とささやいて。わたしは胸がどきどきした。同じアメリカにいるのに、かつてわたしが住んでいたときとは大違いだった。なにしろあの当時のわた

しは、クスリを断っているといっても売人に連絡がつかなかったからのことで、手に入ったらまた使ってしまったのだから。

わたしは NA Way マガジンに記事を書くことと約束したのだけど、どういうわけか、書こうとしても言葉がぜんぜん浮かんでこなかった。そして今年は、出張をとて楽しみにしていたのに、経済的な理由で取りやめになったと会社から連絡があった。わたしは本当にかがかりした。でも、そうなるまで、前回の出張で自分がどれだけのものを与えられたのかに気づいた。ロードアイランドのプロビデンスにあるNAという仲間の集まり、そこでの出会い、そしてそのような出会いに手を貸してくれた

仲間たち。NA Way マガジンに載せてもらう記事に最低限必要なものがそろっているじゃないか。NAにつながってよかった。ロードアイランドにNAがあってよかった。信頼されるしもべであるNAワールドサービスのみなさん、どうもありがとう。そして、NAの新しい友人であるスティーブ、スティーブの奥さん、ジョン。本当にお世話になりました。心から感謝しています。

マルティナ・H (ドイツ/ヘッセ)

Picture you

Just as we get to know NA groups around the world in our "Picture this" section, we'd like NA members to consider submitting material that helps us "picture you." All over the world, NA members express themselves through illustration, painting, graphic design, photography, quilting, and knitting. We have skilled woodworkers, sculptors, origami artists, and chefs; embroiderers, tattoo artists, florists, and all other types of artists and craftspeople.

We're not just looking for NA imagery like our logo (though we can find uses for those). Send us what you've created and we'll find ways to display your creativity throughout the magazine. Of course, our principles come first: no anonymity-breaking images, and please avoid political, religious, or other "outside issues." Please submit material as high resolution photographs or in PSD, JPEG, or EPS format.

Email your submissions to
naway@na.org



From top left: Dopes on Slopes event artwork, Angela P, Nevada, USA; NA shield, Henry W, Ontario, Canada; NA meeting room cupboard door, Kristiansand, Norway; NA service symbol stained glass, Ken B, Florida, USA.

◆ ◆ ◆ ◆ わかちあい

ステップ 11

こんなことを言うのが驚くでしょうね。ナルコティクス アノニマスにつながることによって、わたしたちは自分で気づきもしないうちにステップを踏（ふ）んで生きようになっていくことがあると思うの。なんというか、ステップ 11 って、わたしにはそうだったのよ。ちなみに、これはわたしの好きなステップのひとつでもある。今にして思えば、知らず知らずのうちに神がわたしの生きる支えになりつつあったのよね。それは、これからここでわかちあう経験によっても明らかだった。あのとき、わたしはまさに初めて黙想（もくそう）というものを実行した。そして、このようなわたしの黙想（もくそう）はあれから何年もたった今でも行っている。具体的には、耳を傾けること。それは「祈りは神に助けを求めることであり、黙想（もくそう）とは神の答えに耳を傾けることだ」といった人がいる」と、NAの『ベーシックテキスト』の 11 番目のステップにも書かれている。

わたしがクリーンになって 30 日くらいするとき（もちろん、わたしは 11 番目のステップにはほど遠いところから、自分がすでに実践できていることに気づきもしなかったと思う）、スポンサーから耳を傾けるという課題が与えられた。わたしは耳を傾けるのが苦手だったから。それは「自分でも」わかった。そのため、わたしはミーティングの後でスポンサーに電話をし、自分が聞いたことを伝えることになった。そして、おさまりのようなやりとりをする。「さて、今日はどんなことを聞いてきたの」、「なんにも」、「ちゃんと聞いていたの」、「うん」、「だったら、メッセージが耳に入りますように祈ることだね。そうじゃないと、また使うようになって、死んじゃうわよ」。

そこで、わたしはミーティングに行ったら、「どうか、メッセージが耳に入りますように」と心のなかで祈っていた。そして、ナルコティクス アノニマスのミーティングでまさに初めてわたしが耳にしたメッセージは、こんな具合に届いた。バイカー（オートバイ族）の男性がスピーチ台に立った。そこで、わたしはとっさに思った（つまり、早とちりした）。「こいつは、パスだわ。バイカーの連中なんてすぐ使っちゃうもの。本当に 8 年もクリーンでいられるわけないわ」。そのまま無視しようとして、自分に与えられた課題のことを思い出した。そうだ、ここで聞いたことについて、スポンサーに電話しなきゃいけないんだ。わたしはきちんと座り直して身を乗り出し、そのバイカーの口元を見つめながらハイヤーパワーへの祈りをとなえた。「どうか、わたしがメッセージを聞き取れるようにしてください」。すると、こんな言葉が聞こえてきた。「今日だけ、クリーンでいられるようにしてくださいとハイヤーパワーに助けを求めることもなく、1 日の終わりにハイヤーパワーに感謝することもなければ、俺たちはまた使うようになっちゃうんだ」。これが、神との意識的な触れあいだわ。すごい。こんな話はこれまで聞いたこともないわ。そんな考え方があるなんて。わたしは無知もいとこだわ。これまで何年間もずっとミーティング場に入り続けてきたというのに。きっと他にもいろいろ、聞いてないことがあったんだわ。

わたしが初めて NA のミーティングに出席したのは、1970 年代のはじめのころだった。仲間の話が聞けるようになると、わたしは希望がもてるようになった。それから長い年月を経た今でもやはり、耳を傾けることがわたしの祈りと黙想（もくそう）になっている。ミーティングに行くと、ハイヤーパワーからのメッセージが聞こえるように前の席に座って、わかちあいをしている仲間とその話に注意を傾ける。わたしはこれを、スポンサーやほかの仲間たちと一緒にしている。耳を傾けることは素晴らしい道具であるだけではない。わたしには、これがまさに回復にむかう最初の足がかりとなった。11 番目

のステップのおかげで、わたしは自分のハイヤーパワーと心を通わせることができる。この祈りと黙想（もくそう）は、何度となく行ってきた。ときには、20 分くらい黙って座り、静かに呼吸をしていることもある。さまざまな考えが浮かんで消えていく。わたしはあきらめず、ただ心が静まるように最善を尽くす。以前、とても賢い人がいて、教えてくれたことがある。「座して黙想（もくそう）する 20 分の間に何が起こるかはどうでもいい。その 20 分間、自分の一日に残された 23 時間



写真
『NAの 12 ステップという
石橋をたたいて渡る』
デイヴィッド・P（アメリカ
合衆国／カリフォルニア）

と40分にどのように影響するかが問題なのだ」。本当に、そのとおりだったわ。こうやって自分のハイヤーパワーと過ごす静かな時間をもてば、わたしはイライラすることもなく、心静かな一日をたんと過ごせるようになるの。これ以外にも、リラックスしてハイヤーパワーと心を通わせる助けになるものとして、ガイド付きの黙想(もくそう)テープ(黙想(もくそう)の手ほどきをしてくれるテープ)も利用してきた。でも、何よりも大事にしているのは、ナルコティクス アノニマスのプログラムを第一に考えること。そうすれば、宗教的な儀式や黙想(もくそう)の形式などにとらわれて自分のすべきことを見失わないようにできる。だって、わたしにとつては、これはあくまで「ステップのひとつ」にすぎないのだから。

というわけで、みなさんもこれからはミーティングに出たり、だれかに話しかけられたりしたときに、自分のささやかな祈りをと念えて一心にメッセージに耳を傾けたいと思うのじゃないかしら。やってごらん下さい。みなさんのハイヤーパワーからとても大切なメッセージが届くはずだから。

ロザン・S (アメリカ合衆国/ユタ)

それなりの手順を踏む あるメンバーによる応用例

ステップ1: ボクは、古くなって乗らなくなった車を修理しようとした。でも、ただでさえポンコツだった車は、ほんとうに壊(こわ)れてガタガタになってしまった。

ステップ2: ボクの手には負えないが、だれかほかの人ならきっと修理できると思った。

ステップ3: 壊(こわ)れた車は、整備士(せいびし)に引き渡した。

ステップ4: ボクは、このポンコツ車についてうまくいったこととうまくいかなかったことを、全部書き出して一覧表にした。

ステップ5: その一覧表に書かれたことを整備士(せいびし)にわかちあった。

ステップ6: ボクは、ポンコツ車から古い部品を取り除いてもらおうという気持ちになった。

ステップ7: あとのことは、整備士(せいびし)にまかせた。

ステップ8: ボクは、部品の欠陥や手をかけなかったことでダメになったところを、全部リストアップした。

ステップ9: ボクは、オイルやバッテリー液などをきちんと点検しなかったことや、調子の悪いところがあったのに放置していたことを認め、それによってダメになったところを直して正常な状態に戻すと誓った。

ステップ10: ボクは、定期的に車のメンテナンスを行った。それを怠けて、エンジン音がおかしくなったら、すぐにでも修理することにした。

ステップ11: 自分の車のことをよく理解して維持できるように、整備士(せいびし)の協力を求めた。

ステップ12: 整備士(せいびし)とボクはとても親しい友人になって国中を一緒に旅行し、その道すがら足を止めては他のドライバーたちの手助けをした。

アノニマス (インド/ムンバイ)

ステップ8

自分が傷つけてしまった人々のリストは、紙に書き出して眺めたくなるようなものではなかった。だが、ひとりひとり名前をリストアップしていくうちに、よくわかった。俺が自己中心的であったばかりにどれほど多くの人たちが迷惑をこうむったのか。それは他人や社会にとどまらず、自分自身にも及んでいたのだ。こうして、悪気ではなかったことも全部ひっくるめて傷つけるということについて理解が深まった。俺はあくまで自分のしでかしたことにだけに目を向け、悪気のあるなしにかかわらず、自分の行動が悪影響を及ぼしたと思える人やものごとを洗いざらい書き出すことに全力を尽くした。そうして書き出したことをスポンサーにうちあけ、ふたりで何人かの名前を追加し、何人かの名前を削除した。それでも、最初に自分で書き出したものと同じくらい克明なリストになった。

だが、実際に自分から進んで埋め合わせをしようとなると、そう簡単にはいかなかった。リストには、家族や友人やNAの仲間のように、一生懸命に取り組みたいと思う人たちの名前が多く書かれていた。俺を不当に扱ったと感じている人たちや施設となると、なかなかやる気が湧いてこなかった。それでも、真っ先に取り組みたいという意欲がもてた人たちのうち、数人に直接的な埋め合わせをした結果、やはり全員に埋め合わせしようという気になった。実際にやってみて、これはやるだけの価値があるとわかったことと、過去から解放されてもっと自由に生きたいと心から望むことによって、残りの埋め合わせを進んでしようという意欲が湧いてきたのだ。

このステップに取りかかってみると、孤独感(こどくかん)や罪悪感(ざいあくかん)が薄らいでいった。うつむくことがなくなり、NAのステップにはやりがいがあると思えてきた。そうなるともう、アディクションによってさまざまな問題が生じることを理解できていれば、俺にも回復がもたらす自由を楽しめるのだとわかった。これで孤立や孤独から抜け出すことができると思えたら、意味のある人間関係を築いていくことも夢ではなくなった。そして俺のなかでは、罪悪感(ざいあくかん)や羞恥(しゅうち)心(しん)が薄らぎ、希望、信頼、信じる心がゆっくりと芽生えつつある。

ジミー・S (アメリカ合衆国/インディアナ)

許可を得て転載

『ビーコン(灯台)』2010年8月号
サウスショア エリア(インディアナ州)

許しを得る

ナルコティクス アノニマスのミーティング場に足を踏(ふ)み入れ、はじめて12のステップを目にした瞬間、おれの目はステップ9に釘づけになった。そう、自分が傷つけた人たち全員に埋め合わせをするというやつだ。なるほど、それなら話は早い。自分がアディクトであると認め、病気だからしょうがないと言って謝れば、それですべて許されるんだ。それじゃ、おれは今こうしてミーティングに出て自分の問題を何とかしようとしてるんだから、みんなも、もうこのへんで許してくれてもいいだろ。このステップをみてわかったのは、そういうこと。謝ればすむってわけだ。許されることばかり考えていたので、そこに至る8つのステップが目に入らなかった。おれは特別なんだ。アディクトだし、それは自分でも認めている。だからもう許してくれよ。これじゃ、これまでの人生そのままだ。おれは欲しいものがあると、どうしても手に入れなくてはられない。それも、ほとんど、いや何の努力もせずに手に入るものだと思っていた。まったく、われながら開いた口がふさがらない。

それから2～3週間後に、おれは自分

やっぱり、最初から
8つのステップに
目を通しときゃ
よかったんだろうな。

の新しい「肩書き」を利用して、かつて自分が傷つけた人たちの数人から同情を得ようとした。「おれはアディクトなんだよ。それがわかったから、NAミーティングに通っているんだ」と誇らしげに伝えた。そして自分のせいで辛い思いをさせてしまい、どれだけ申し訳なく思っているかということをうちあげた。だが、みんなの反応はおれが予想していたのとはかなり違っていった。「なあ、おまえも、もういいかげんに大人になれよ。悔やまない方がどうかしてるんだから、そんなわかりきったことをわざわざ告白してもらうまでもない」。こんなことを言われて傷ついたおれは、口汚く罵(のの)りながら殴りかかっていた。こうして、過去にしてかしたことの埋め合わせどころか、さらにまた負い目ができてしまった。やっぱり、最初から8つのステップに目を通しときゃよかったんだろうな。

ナルコティクス アノニマスの12のステップは、それなりの理由があって順番になっているんだ。自分の好きなステップだけをやって、飛び飛びにやってすることはできない。きちんと順番どおりに進んでいかななくてはならないんだ。おれはついに降

参してスポンサー・シップをとり、スポンサーの指導でステップを実行していった。しばらく時間がかかったけれども、おれは12のステップによって自由を手にした。自分中心で回っていた世界から、ようやく解放されたんだ。こうやって地道に努力していれば、おれにもいつか許しが与えられるんじゃないかな。

ジョー・A (アメリカ合衆国/テネシー) 『ガーディアン』の許可を得て転載
テネシーリージョン/アッパーカンバーランド エリア

神なしで 回復の道歩む

2,3カ月前のことだ。私は、人数の多いミーティングで、ホームグループを自分より偉大な力にすることについてわかちあっていた。ミーティングが終わると、ひとりの仲間が私のところにやってきた。「あなたは神の存在を信じていないのね」と聞くので、私は「信じてない」と答えた。すると、この仲間はつづけて言った。「存在するにきまっているじゃない。あなたはこれまでずっと、行くべき教会をまちがえてたのよ」。私は笑いかみ殺すのが精いっぱいご意見ありがとだけ言った。

この手の出来事はたちの悪いものではないにしても、よくあることなので迷惑もいいところだ。私はNAにつながつたときに、ハイヤーパワーはどのようなものであってもかまわないと教わった。自分のことを大切にしてくれて、なおかつ自分より偉大な存在であればいいからだ。そして、NAのホームグループはこの条件を満たしていた。だから私は、これまでホームをハイヤーパワーとしてきたのだ。すでに8年以上経ち、今もこうしてクリーンであり、心おだやかな状態にいる。

回復の道歩む無神論者(むしんろんしゃ)というのはめったなことではお目にかからないか、あるいは肩を寄せ合ってまったく目立たないようにしているか、どちらかである。神の存在を信じようとししないことには悪いイメージがつきまとうため、自分たちの無信仰を胸に秘めておく傾向があるからだ。それでもなかには1人ぐらい、自分たちは神なしで回復の道歩んできたという事実をはっきりと口にする者がいてもおかしくはない。だが、それによって私はずっと孤独を味わった。私の無信仰は、周囲の考えと真っ向から対立するからだ。ほとんどの仲間が、クリーンになる道はひとつしかないと思っている。つまり、神とともに歩むということだ。そしてNAの文献でも、私たちのような無神論者(むしんろんしゃ)の反感を買わないように神をどう解釈するかは自由としながら、あくまで神というものへの信仰を説く。

私は自分が無神論者(むしんろんしゃ)であることを「カミングアウトする」べきかどうか、長い間悩んだ。そしてついにカミングアウトした。すると驚いたことに、回復の道歩む仲間たちだけでなく、アディクトではない人たちからも支

持ってもらえたのだ。それでわかったのは、回復のために他のみんなが信じているからといって、自分も同じように信じる必要はないということだ。そして、ステップをやるときだって、自分が信じてもないものに祈る必要はないとわかった。ただ、誤解しないでほしい。NAの中でも外でも、私の迷える魂が心配だとはつきり言った人や、私はまちがっていると断言する人たちがあって少なくはなかったのも事実だ。だが、それも全体としてみればそう多くはなかった。私はステップを実行していくことによって、自分以外のだれかに自分の価値を認めてもらう必要はないことに気づいた。だから無神論者(むしんろんしゃ)だって回復する。私はそのことを身をもって示しているのだ。

ナルコティクスアノニマスの将来に私が願ってやまないことがひとつある。それは、人知を越えた神わざなど信じないアディクトたちに対してミーティング場の敷居が低くなっていることだ。もちろん、進歩には時間がかかる。だから私は、回復の道歩むなかで自分と同じ無神論者(むしんろんしゃ)たちと出会ったら、神の存在を信じていなくても大丈夫だということを他の無神論者(むしんろんしゃ)たちとわかちあうようにと励ましている。キリスト教徒、イスラム教徒、ヒンズー教徒、ユダヤ教徒をはじめとするどの宗教の信者であろうと、あるいは無神論者(むしんろんしゃ)であろうと関係ない。NAの12のステップを使っていれば、だれだってア

無神論者(むしんろん
しゃ)だって回復する。
私は、そのことを身も
って示しているのだ。

ディクションという病気から回復するのだ。私は今でもわかちあいのなかで「神」という言葉を使わないし、これからも使うつもりはない。そんなことをしたら、自分が信じてもないのに、神なるものが存在するとお墨付きを与えることになってしまうからだ。ただし、神の存在を信じている人たちのことはきちんと認めて、尊重している。

愛と寛容こそ、ナルコティクス アノニマスのミーティングで私たちがわかちあうものであり、それが実感できたから私は歩みをとめないでいられたのだとも言える。そして、これは私だけのことではない。自分たちのわかちあいは、だれもがミーティング場に歓迎されていると感じられるものになっているだろうか。それとも、だれかをのけ者にするようなものになっていないか。そういうことを考える仲間たちがいるかぎり、回復したいと思うアディクトなら「だれでも」回復できるし、「だれもが」歓迎されていると感じることができる。NAがまちがいでないかという場所でありつづけるために、私たちはメンバーとして細心の注意を払う必要があるのだ。

こうしてわかちあわせていただいたことに感謝する。

リップ・W (アメリカ合衆国/ミシシッピ)

国を守り、NAに守られる

俺は兵役に就きながら、アディクションと戦った。NAメンバーとしても退役軍人としても、立派に努めを果たしたわけだ。そう思うと、自分の経験をわかちあわずにはいられなくなった。

俺は1987年の12月7日（真珠湾攻撃の日）に兵役に就いた。兵役服務期間を通して一度、尿検査でひっかかったものの、どういうわけかあとは何とか無事にやり過ごせた。しかし、兵役を解かれたとたんに、クスリの常用によって俺の人生は下り坂になっていった。俺は予備隊に志願したが、それでも使うのは止まらなかったのが人生は悪くなる一方のように思えた。俺は多くのアディクトがやることをやったあげく、ラスベガスへ逃げて「人生をリセットする」ことにした。ひと月ほどして、何千という同じ予備兵たちと同じように現役の軍務に招集された。俺はペルシャ湾に浮かぶ工作船に配属され、バーレーンで多くの時間を過ごした。

湾岸戦争が終わるころには、自分に問題があることはわかっていたが、自分をアディクトであるとは思わなかった。俺は、現役の服務に復帰するという申し出をうけ入れ、それを終えたあと、湾岸戦争の工作船でアメリカ本土のカリフォルニア州サンディエゴへ帰還した。俺はいつのまにか本命のクスリに手をつけるようになり、ラスベガスでの中断がなかったかのように使いつづけた。

それからまもなくして、フィラデルフィアの陸軍士官学校に通っている間に尿検査でひっかかり、除隊処分になってしまった。軍隊のカウンセラーからNAミーティングへの参加を勧められたが、俺は行こうとしなかった。これは1992年の2月のことだった。それからというもの、俺はホームレスになってサンフランシスコの刑務所を出たり入ったりと、まさに落ちるところまで落ちていった。

そして1995年の6月に逮捕された俺は、在郷軍人の裁判制度によってチャンスを与えられ、ようやく回復に向かった。このとき入所した治療センターにいる間（2回目のとき）に、H&I（病院施設委員会）によるミーティングがあり、そこでついにNAのメッセージを耳にすることができて命拾いをした。だが、何を聞いたのかと言われてもこまる。俺にわかっているのは、逮捕された翌日から今日に至るまで、何があろうと薬物を口にしようという気が起こらなかったということだけなのだ。

ポール・D（アメリカ合衆国／カリフォルニア）



編集註：ここに掲載（けいさい）された体験談は、他のメンバーによってNA Wayに投稿される記事と同じ思いで提供されている。つまり、ひとりのアディクトがもうひとりのアディクトに自らの経験をわかちあう手段以外の何ものでもない。この記事は、そのような手段として掲載（けいさい）されているのであり、政府機関や軍隊などへの支持や提携（ていけい）を目的として掲載（けいさい）されているのではない。

Electronic NA Way subscribers
can click here for additional sharing.



サービスシステム プロジェクト 最新情報

NAWS (NAワールドサービス) が戦略的プランによって目指すことのひとつは ……

…… サービス提供の仕組みをシステム化することである。つまり、NAの第一の目的を実現していく際に心をひとつにして動くこと。そして、世界各地のNAでサービスに求めるものや目標とするものがさまざまに異なっても柔軟に対応できること。この2つが可能になるようなシステムにするのだ。

2010年の8月には、一連の改革案が発表された。そこには、システム化によるこれからのサービスのあり方について、いくつかの案がまとめられている。それについて私たちはNA全体から意見を収集するとともに、アメリカ国内でのワークショップやそれ以外の地域でのセッションを開催したのち、3月には改革案の修正を行った。今回の修正案をたたき台にしてさらに議論を深めていけば、2012年のカンファレンスアジェンダ レポートに掲載する資料がまとめやすくなるだろう。なお、この修正案のほか、サービスシステムプロジェクトに関する資料は全部、www.na.org で閲覧(えつらん)可能になっている。

サービスシステムを活性化する基本原則

以下に示す5つの原則は、私たちの考え方の土台になると同時に、それぞれの改革案にも共通するものである。



第一の目的を忘れない



各グループの要望にしっかり目を向ける



世界各地NAの声に耳を傾ける



柔軟性をもつ



協力関係をもつ

最初の草案にじっくり目を通して意見を提供してくれた仲間たちには、とても感謝している。NAの第一の目的を実現しやすい最良のシステムがつかれるように、これからも引き続き、みなさんの考えをお聞かせいただきたい。

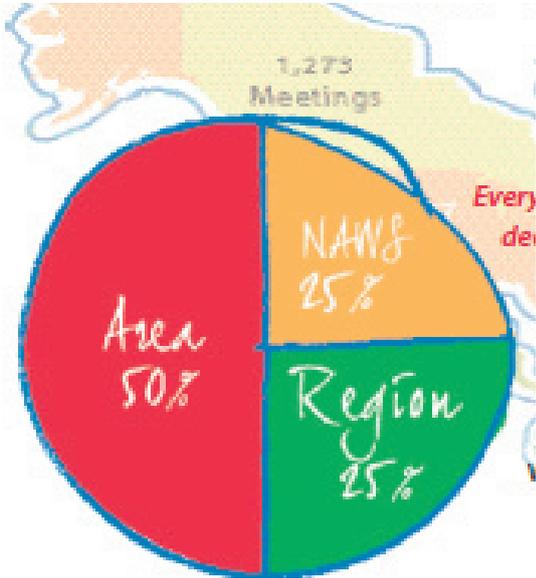
みなさんからの意見提供では、特にお聞きしたいことがいくつかある。そのひとつが、サービスの分担である。みなさんは、サービスの分担がうまくいっているサービス機関にかかわった経験があるだろうか。そのようなサービス機関がどのように機能していたのか、ぜひ教えていただきたい。それが、さまざまなエリアへのサービス提供のために結成された機関が、各エリアへの説明責任を果たすという問題にどのように対処したのかという経験であれば、なおありがたい。

みなさんの経験にまつわる投稿をお持ちしている。 worldboard@na.org
ぜひご覧ください

www.na.org/servicesystem

プロジェクトの背景に関する全記録、最新情報、参考資料が掲載されています。

「私たちの未来像」に投資しよう



すべてのNAグループは、外部からの寄付を
辞退して、完全に自立しなければならない。
伝統7

ナルコティクス アノニマスでは、メンバーが活動費用を自己負担して自由を守りつづける。仲間が集まるミーティングを開くことも、さまざまなサービス機関の活動を支えることも、自らが惜しみなく与えるからこそできることなのだ。そうやってNAは存続し、世界中に広がっていく。

「私たちに新しい生き方を教えてくれたのは、NAのプログラムだ。その感謝の気持ちを行動で示していくなかで、NAに対する金銭的な貢献はぜったいに欠かすことのできないもののひとつになっている。NAメンバーである以上は、そのことを一瞬たりとも忘れないようにしてもらいたい。」

IP # 28 『NAのサービスに資金を提供する』

これは、「NAの未来像に投資しよう」という連載記事の第2弾である。第1弾は、NA Way マガジン2011年1月号に掲載(けいさい)された。こうして何回かに分けて連載するのは、ある事実をしっかり目と目を向けてすみやかな話し合いがもたれるようにしていくためである。その事実とは、NA全体で一致協力して成し遂げることは何から何まで、メンバーが時間、努力、お金を捧げることで可能になるということだ。

NA Way マガジン2011年1月号でも論じたように、新たに採択された「NAのサービスにたくす未来」で重点の置かれている目標は、私たちがNAの役に立つことで成し遂げたいと願うことばかりだ。一部のメンバーには、このNAに見通しを立てるという考えが、これまでにない着想のように思えるかもしれない。「NAワールドサービスの理念」とされていたものが「NAのサービスにたくす未来」となるまでの経緯をよく知らないメンバーなら、なおさらだろう。「NAワールドサービスの理念」は1993年のワールドサービス カンファレンスによって採択されたものである。2010年の同 カンファレンスで「NAのサービスにたくす未来」が満場一致(まんじょういっち)で採択されるまでは、これがNAワールドサービスの活動指針とされていたのだ。

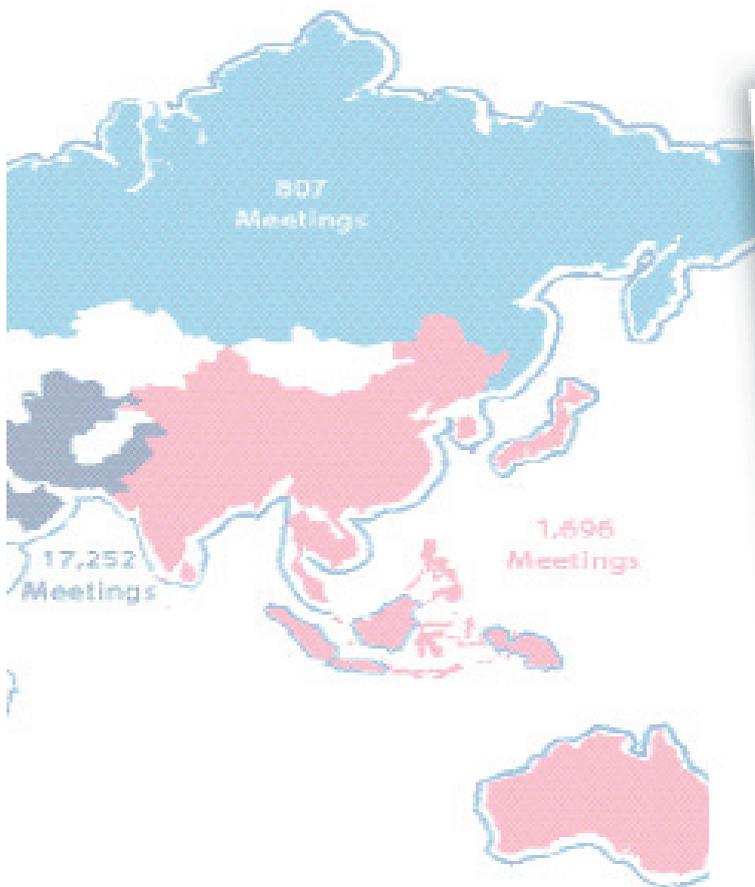
このように、NAという仲間の集まりは1993年になるまできちんとした理念をもたずにいたわけだが、それでもNAの創設メンバーたちの心には、ナルコティクス アノニマスの希望のメッセージが世界中のアディクトたちに届くようになるという未来像が描かれていたのだ。だが実際に、1973年にNAの20周年を祝う夕食会の席でジミー・Kがその思いをわかちあったとき、口にしたのは現実のことだった。メンバーからの多大な努力や貢献がなければ、そのような未来像を実現することも、世界中のアディクトたちが回復することもないと言ったのだ。

それは現在でもまったく変わらない事実である。NAの未来像を実現するために私たちがすべき活動には、世界各地にしっかり定着したNAや、NAがあったことで回復の道を歩みつづけているメンバーたちからの大きな献身を必要とするのだ。NA創設時には、メ

ンバーの多くがそういうことにとっても熱心だった。新しいグループやミーティングが次々とできるように、そしてひとりでも多くのアディクトに手をさしのべられるようにと、NAのメッセージがまだ届いていないところへ行き渡らせようとしたのだ。

そうして、NAのメッセージが届いていない国や地域にうまくNAを広めることができるようになればなるほど、私たちの取り組みは以前にもまして骨の折れるものになってきた。これは、なにもNAワールドサービスにかぎったことではなく、世界各地のNAにも言えることだ。地方にあるエリアサービス委員会をよくみられる例を紹介しよう。エリア全域にくまなくメッセージが届けられるようになることで、これまで遠くで行き来しなかつたところにもNAができる。そして、そのNAにもいくつかグループができれば、成長の痛みをはじめとする共通の課題に直面する。それに従って、サービス委員会は支援の手をさしのべ続けるうえで多くの資源を活用しなければ解決できない問題を抱えこむことになるのだ。また、都会であっても、街中にはまだNAのミーティングがないようなところがあるので、サービス委員会では新しいミーティングをはじめのために何らかの支援活動や広報活動をするだろう。いずれの状況でも、十分なサービスを受けていないNAに対して今までよりうまく支援ができるようになるに従って、エリアやリージョンのサービス委員会は現実を知るようになる。地方であれ都会であれ、新しいグループやミーティングの成長を見とどけながら支援していくためには、これまで以上に資源が必要になるからだ。

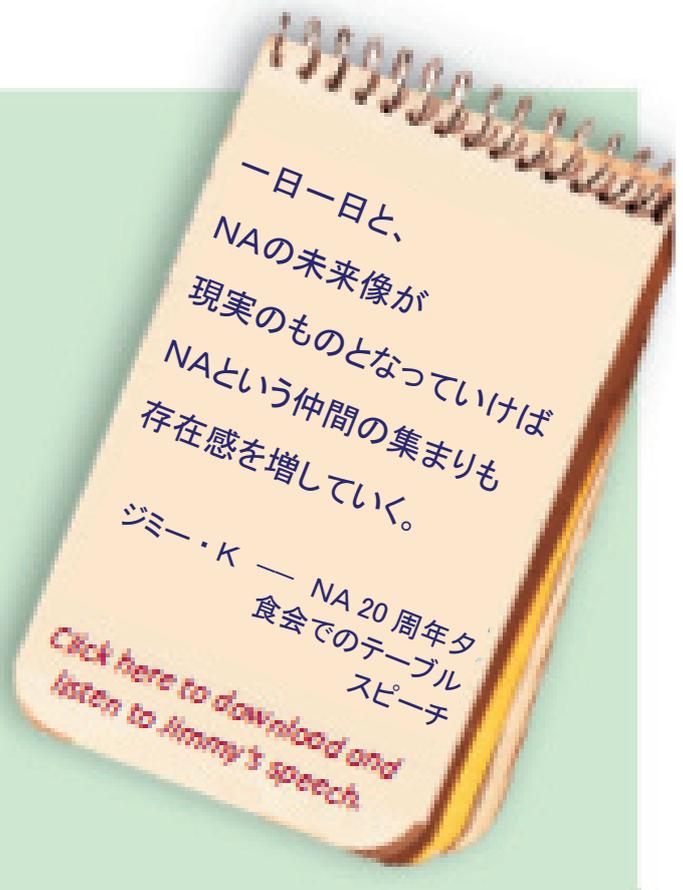
NAワールドサービスが行っている取り組みにも、同じ現象(げんしょう)がみられる。NAWS (NAワールドサービス)では、すでにNAが存在する地域から孤立しているところを中心にして世界各地にNAのメッセージを届けられるようにしている。その過程では、さまざまなレベルの成功を目の当たりにしてきた。ジミー・Kが夕食会のスピーチで言ったように、「NAは必要があつて成長した……多くのアディクトがひたすら墮落と死にいたる道を進んでいた。俺たちは、何かしようと思ふべきだし、そうするのが正しいことだと思つたんだ」。これがどうしてもすべきことだというのは、次のような事実



によって一目瞭然(いちもくりょうぜん)になる。NAがさしだせるものがほんのかすかな火花であっても、メッセージの届いたところに回復を願うアディクトがいて世界中の仲間とのきずなを求めているれば、あつという間に火が燃えあがるのだ。

私たちがNAのメッセージを届けようとしている地域では、経済的な面でさまざまな現実と直面していることが少なくない。NAの文献は、グループが成長して活気ができるようになるために必要なものだが、このような地域のNAでは、とてもじゃないが他の地域のNAほどには文献を買いそろえることができないだろう。しかも、このようなNAグループは、最寄りのエリアやリージョンのサービス委員会からかなり遠いところにあることがめずらしくない。このため、実に多くのNAが経験する成長の苦しみや試練と直面するたびに、NAWS(NAワールドサービス)のアドバイスや支援にたよって乗り越えていこうとするのだ。こうして、文献や支援を行き渡らせる取り組みにはかなりコストがかかる。だが、このような地域にいるアディクトたちが回復できるようにすることは、投資という面では価値のあることなのだ。

NAの未来像を実現することは、地域や国ごとで、さらには国境を超えたつながりのなかで、さまざまなかたちで行われている。地域や国でみた場合には、NAがしっかり定着していれば、メンバーが回復していくを支える資源には事欠かない。(毎晩ではないにしても)ほぼ連日のように夜のミーティングが開かれ、何かにつけ頼りにできる経験豊富なメンバーもいるし、NAの文献も手頃な値段ですぐ手に入るようになっているからだ。このようなNAにいるメンバーたちは、サービスに関わることや、エリアやリージョンのサービス委員会に活動資金を提供することによって、感謝を行動に移すことができる。そして、世界各地で育ちつつあるNAでは、だれもが回復できるようになっていくことが先決だ。そのために必要な資源を自由に利用できるようにするのは、NAワールドサービスの責任である。こうして、NAの未来像を実現するための活動が世界中で行われているのだ。NAワールドサービスはみなさんをお願いする。この活動を支えるために「NAの未来像に投資しよう」。



NA members can make one-time or recurring contributions directly to NA World Services at www.na.org/71D=donation-external-index.



Living Clean: The Journey Continues

The final review and input period for *Living Clean: The Journey Continues* ended on 31 December 2010. The input process has concluded.

Thank you

We want to extend our heartfelt thanks to all the members of our fellowship who shared their experience, strength, and hope with us regarding *Living Clean*. Members sent their experiences to us via email, on discussion boards, in workshops at local events or conventions, by postal mail, and in audio recordings. We have received input from members of our fellowship from all over the world. Your sharing affected the direction and structure of this book. We deeply appreciate the time, energy, and effort of members who reviewed the draft material. Again, we thank you for your participation in the process that is bringing this book to life.

Next steps...

The input we received from the fellowship is being factored into the material. The revised draft will then be copyedited to ensure the material is coherent and clear. After that, the World Board will sign off on the final wording of the text. The "approval form" of the book will be published in April 2011. The project plan for this book calls for the approval form to be available for a one-year period. This approval period is not a time for additional input, but offers the fellowship the opportunity to read and consider the proposed text as it stands. Members can check the Living Clean webpage (www.na.org/?ID=Living_Clean_Project) for further updates, like details on when the approval form will be available.

The book will be included as an addendum to the *Conference Agenda Report* and will be a part of old business at the 2012 World Service Conference. Approval requires a two-thirds majority vote in favor by regional delegates. If approved, the book will be designated as "Fellowship approved" and published after the conference.

For additional and updated information, please visit:
www.na.org/?ID=Living_Clean_Project

グループ紹介

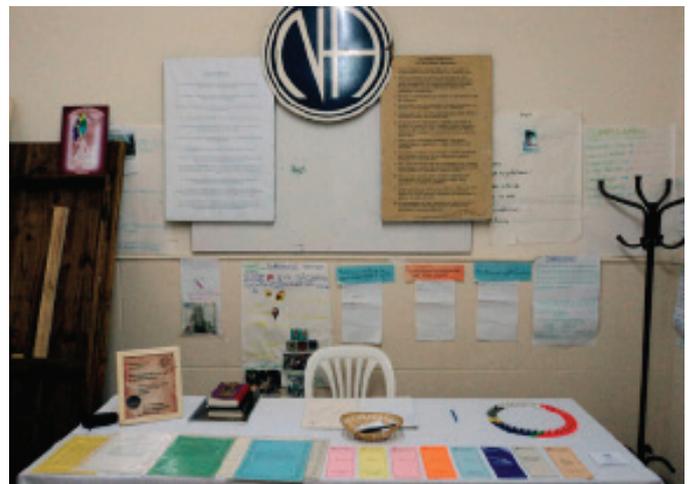
NA Way では、さまざまな NA グループからミーティング会場の写真が送られてくるのをお待ちしている。ただし、集まっているメンバーがどこのだれとわかる写真はご遠慮いただきたい。なお、写真には、グループの名称、所在地および国名はもちろん、グループができてからどのくらい経つのか、ミーティングの形式、そして「ウチのグループならではの」のことなど、グループの紹介文を添えていただくようお願いする。

成長のよりどころ

この「クレシェンド（成長する）・グループ」は 1995 年にできたグループだ。ミーティングは月曜、火曜、水曜が 8:30 ~ 10:30 pm、金曜が 6:00 ~ 8:00 pm に開かれる。クリーンタイムのお祝いには、メダリオンと一緒に、メンバーお手製の証書が渡される。そこにはグループのメンバー全員のサインがしてあるんだ。お祝いのメンバーにその気があれば、ミーティングが終わってからどこかその辺のレストランに行ってみんなで夕食をとにする。

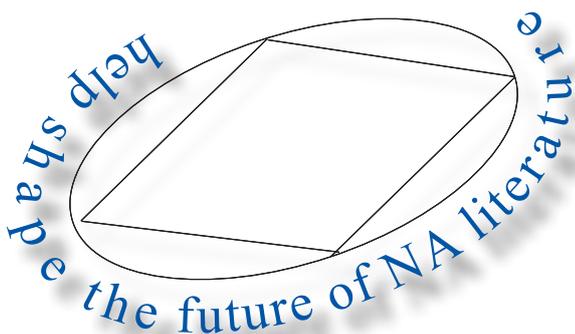
ミーティングは現在、政府の建物の中で開かれている。ここは、アディクトを対象とする薬物プログラムが行われているところだ。「クレシェンド・グループ」は毎月 40 ドルの会場費を払うことによって、伝統 7 をきちんと守っている。グループはこれまで何度となく危機に陥った。たとえば、グループがうまく機能しない時期が 3 年ぐらい続いた。それでも、個人より原理を優先すれば、グループは必ず危機を脱することができる。このような時期にメンバーが心をひとつにすることが、新しくできたばかりの NA が成長する鍵なんだ。「クレシェンド・グループ」は、そうやって危機を次々と切り抜けてメンバーの結束が強まったので、回復を求めるアディクトがつながりやすいグループになりつつあると言える。それも、みんなが NA で手にしたものを返していこうとして、見返りを求めずグループに尽くしたことの結果なんだ。

マルセロ・S（アルゼンチン／プロビンシア・ド・メンドーザ）



.....
Electronic NA Way subscribers
can click here for additional content.
.....

2010 NA Literature Survey



Let your voice be heard!

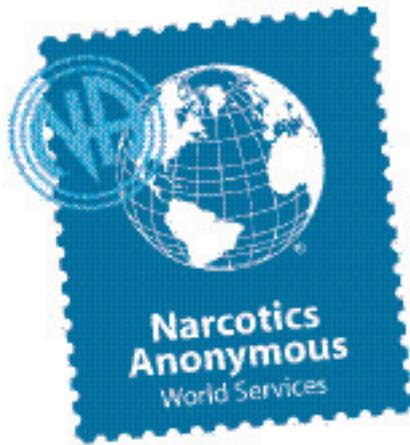
Deadline extended until 30 April

We've extended the deadline for members to participate in the 2010 Literature Survey. The survey has been online since early October 2010, but we are hoping to get many more responses before the end of the month. Many of you have already taken the time to complete the survey online or by mail or fax, and we want to thank every one of you. Your valuable input will be collated, reviewed, and used to help plan future NA literature. Thank you again for participating. If you have not yet filled out a survey, just go to

www.na.org/litsurvey

Public Relations

Productive and cooperative relationships



While many members may have heard of the Public Relations Handbook, how many members are aware of its full contents? This handbook contains information about many areas of service such as criminal justice, fellowship development, phonelines, and treatment. Broadly speaking, public relations efforts aim toward building and maintaining relationships in all services that NA provides.

Meeting attendance cards mandated by drug courts affect many members. Meetings may seem overwhelmed with new members who have a slip that needs to be signed. Other members may be disgruntled with these addicts who are sent to our meetings expecting a slip to be signed, claiming these folks are disruptive and disrespectful.

The question then seems to be: How can we cooperate with drug courts while maintaining an atmosphere of recovery in meetings?

Chapter Six in the Public Relations Handbook specifically speaks to the topic of drug courts (pages 57–60). This section of the handbook addresses NA's relationship with drug courts, discussions an area service committee may have about drug courts, communication from an ASC to drug courts, and the prevalence of meeting attendance cards. The handbook focuses on experience-based solutions—providing drug court personnel with presentations and information explaining what NA is (and isn't). It also suggests involving trusted servants of an area in solution-based discussions. Some areas have used a Chapter Six resource, "Newcomer Workshop," to help meetings with an influx of referred members. This workshop invites all new members, including drug court-mandated persons, to a workshop meeting that is facilitated by NA members at a set time and place. The basics of an NA meeting are explained along with brief descriptions of NA terminology, meeting protocol, and sponsorship. Areas that have used this resource and have been consistent with their presentations with drug court personnel have found a marked improvement in the atmosphere of recovery in their meetings.

Concerns about how to handle meeting attendance slips are a constant refrain related to court-mandated addicts. One way to view these slips is as a service to addicts, with a focus on our Third Tradition. We welcome all addicts, regardless of how they arrive at our meetings. Some addicts with attendance cards, whether from a drug court, treatment center, or parole program, may not be sincere in their desire for recovery. Ours is not to judge their level of commitment to recovery; ours is to let all who attend meetings know that NA's message of recovery is available. Information about meeting attendance cards and approaches can be found on pages 59–60 of the Public Relations Handbook. Bulletin #31 is another resource for meeting attendance cards and can be found at www.na.org.

The underlying thread with drug court-referred addicts is cooperation. This simply means working together in actions that benefit all those involved. We willingly help those who request our assistance. "We are more likely to form productive and cooperative relationships when we simply and honestly review what services we can and cannot offer to others." (PRHB, Chapter Two) Open two-way communication seems to be key to productive relationships with the public. We perform public relations service to increase the awareness and credibility of the NA program. Communicating with drug court personnel helps build solutions both for those referred to NA



ワールドコンベンション最新情報

あとほんの数カ月もすれば、太平洋沿岸にあるカリフォルニアのサンディエゴに仲間が集まり、「心をひとつにして」回復を祝っていることだろう。ここには、確認事項やお知らせをいくつか載せてある。また、Eメールで届く大事なお知らせや、www.na.org/wcna に随時掲載(けいさい)される最新情報もお見逃しなく。

プレ・レジストレーションが可能な人数

みなさんには、早めに登録を済ませておくことをお勧めする。7月28日までに登録することによって10ドルの割引が受けられる。今ならまだ、間にあうだろう。なお、NAの資金を最も有効に活用するために、プレ・レジストレーションが可能な人数を1600人とした。みなさんには、世界中のNAから集まるアディクトたちと回復を祝う機会を逃してほしくないのので、参加登録しようと考えているメンバーはすぐにでも登録を済ませるようにいていただきたい。(ただし、何人かでまとめて登録する場合には、現地で代表者が全員のチケットをまとめて受け取り、それを「自分たちで振り分ける」必要があります。)

なお、www.na.org/wcna にはお知らせのがきやポスターが掲載(けいさい)されている。これをダウンロードして配ることによって、コンベンションのことが知れ渡るようにしていただければありがたい。

登録バッジ

WCNA(NAワールドコンベンション)期間中は、サンディエゴ・コンベンション・センターに入館する際に、登録バッジを身につけて表示することが求められる。これは、安全保護のためだ。(同コンベンション・センターで開かれるイベントやミーティングへの参加でも、この登録バッジの表示が必ず求められることになる)。このようなことに違和感を覚えるメンバーもいるだろう。だが、参加登録証明が必要とされるのは、どうみても参加者としてごく当然のことではないだろうか。登録バッジがあれば、ダンスパーティーはもちろん、コーヒーハウス、コンベンションのフェスティバル、ミーティングと、コンベンションセンターで開かれるイベントやミーティングにはもれなく参加できるようになるのだ。

サービスに関わる

NAの回復を祝うイベントを成功させるために、一役買おうという気持ちはないだろうか。WCNAでは、エンターテイメントやさまざまなイベント、商品販売、プログラム進行、登録手続きをはじめ、やるべきことがたくさんあるので、手を貸してくれるボランティアを募る予定だ。詳しいことは、www.na.org/wcna でコンベンションのボランティア申し込みのタブをクリックしていただきたい。

エンターテイメント

「コンサートでは、だれが演奏するのか」。みんな知りたくてたまらないだろう。もちろん、伝えるこちらにも興奮する。ただし、まだ全員が契約を済ませたわけではないので、現時点でお知らせできる出演者は以下の通りである。

- ★ブルース・ランチョン - ケニー・ウェイン・シェファード
- ★金曜夜のフェスティバル - トロンボン・ショーティ&オゾマツリ
- ★コーヒーハウス - ヘッド・ライナーズの前座には、NAMemberによる素晴らしいバンドを何組か予定している。

各種イベントのうち、2つにスケジュールの変更がある。ジャズ・ブラックファーストは9:30~10:30 amに変更されたので、名称も時間帯にふさわしく「ジャズ・ブランチ」となった。コメディショーは金曜ではなく、火曜に開かれることになった。金曜夜のフェスティバルとかち合わないようにするためである。以上の変更注意到意して、自分の予定をうまく調節していただきたい。なお、以上のイベントは前もってチケットを購入しなかったとしても、今ならまだ、自分のオンライン登録にアクセスして購入することができる。

これまでアメリカで開催されるWCNAでは、メイン・イベントである土曜夜のミーティングの前にディナー・パーティーが開かれることが多かったが、今回は予定していない。これによって当日の夜は、みなさんがサンディエゴの街をゆっくり散歩できるようになったり、他のイベントに参加できるようになればと願っている。コンベンションではほかにもチケット購入可能なイベントがまだいくつかあるが、水曜のナイト・ディナー・ポート・クルーズのチケットはすでに売り切れになっている。

ホテル、トラベル、サンディエゴ周辺情報

ホテルの部屋枠はすぐに満室になってしまうので、どうかできるだけ早めに予約していただきたい。次に挙げるホテルは、すでに満室になっている。エンバシー・スイート、ハード・ロック、ヒルトン・ガスランプ、ホリデー・イン、マリオット・マークス、オムニ。

コンベンション・センターまでの距離のほか、ホテルに関する詳しい情報は www.na.org/wcna でホテルのタブをクリックしていただきたい。それ以外にもこのサイトには、トラベルやサンディエゴ周辺情報に関するタブがある。WCNA34の最新情報も常時掲載(けいさい)されているので、こまめにチェックしていただきたい。

なお、今回のコンベンションでは、車イスなどもこちらでお世話する予定がない。レンタルを必要とするメンバーは、サンディエゴ地区医療器機供給業者やサンディエゴ・コンベンション・センター事務局に連絡していただきたい。

サンディエゴで会おうね！



NAのワールド ユニティ デイというお祝いは、メンバーやグループ、エリアやリージョンのサービス機関のほか、施設なども一緒に参加することができる。今年は、WCNA 34 で行われる土曜夜のメイン・ミーティングと2時間にわたり電話でつながることになる。

太平洋時間で夜7時～9時までの間にサンディエゴから世界中に電話で呼びかけることで、私たちは心をひとつにするだろう。自分が呼びかけをおこなう時間を決めるために、www.timezoneconverter.com で自分が所属するエリアの現地時間を確認しておくといいたい。あとは、下にある登録用紙に記入するだけだ。用紙は、参加料金を添えてNAワールドサービスまでファクスで送信するか、郵送していただきたい。通話料は、アメリカおよびカナダ国内で50ドル。これ以外の地域や国にかけるとは、無料接続回線を1回線ご利用いただけるようになっている。さらに詳しい情報を得るには、下のウェブサイトをご覧ください。

www.na.org/wcna34/unityday

以下に、自分の連絡先を記入してください。

氏名 _____ グループ（リージョン／エリア／施設） _____

電話番号 _____ Eメールアドレス _____

住所 _____

_____ 国名 _____ 〒番号 _____

どのようなかたちで呼びかけようと考えていますか。 _____

呼びかけに応じてくれそうな相手の名前 _____

アメリカおよびカナダ以外の地域で、呼びかけの日に使用する電話番号 _____

支払いの形式（✓を入れてください） AMEX VISA M/C Discover Diners Club

クレジットカードの番号 _____ 有効期限 _____

サイン（署名） _____ 活字体による署名 _____

小切手／郵便為替

フリー・リージョナル・リンク：アメリカおよびカナダ国外では、リージョンの承認が必要になる。
リージョンのチェア・パーソン（議長）の名前と電話番号を記入する場合も、当人の承認が必要である。
リージョンのチェア・パーソン（議長） _____ 電話番号 _____

登録用紙は、記入を済ませたうえで小切手または郵便為替を同封して NAWS, attn: Unity Day, PO Box 9999, Van Nuys, CA 91409 まで郵送するか、クレジットカード情報を併記して 818.700.0700 へファクスで送信していただきたい。2011年8月1日以降に、Eメールまたは郵便で、呼び出し参加番号とパスワードを記載した確認の通知が送られてくる。通知には、呼びかけ当日の予定がまとめられ、電話のかけ方や、通話中に問題が生じた場合の対処の仕方などが説明されている。何か質問があれば、818.700.0700 内線 149 でジミーに電話をいただくか、johnny@na.org 宛にEメールをいただきたい。

登録用紙と参加料金は、2011年8月1日までに必着のこと



カレンダー

Multi-day events and those occurring between publication dates are printed according to the schedule posted online. To enter events or to access event details, visit the online calendar at: www.na.org/events. (If you don't have Internet access, fax or mail your event info to 818.700.0700, attn: NA Way; or The NA Way; Box 9999; Van Nuys, CA 91409 USA.)

Brazil

Paraná 6-8 May; CSA Norte Paranaense 2 Encompasso Muitos Milagres; Monte Carmelo, Londrina; event info: 43.9970.2938

Canada

Ontario 20-22 May; Ontario Regional Convention 24; Radisson Inn, Sudbury; www.orscna.org/english/index.php

Colombia

Quindío 4-6 Jun; 20 Convención Regional de Colombia; Auditorio Colegio Las Capuchinas, Armenia; www.nacolombia.org/convención.html

Denmark

Skanderborg 29-31 Jul; Midtjylland Area Convention and Camp; Audonicon, Skanderborg; www.nakonvent.dk

Germany

Berlin 13-15 May; Berlin International Convention 3; Berliner Stadtmission, Berlin; www.BINAC.de

Guatemala

Ciudad 5-8 May; Latin American Convention 10 and Latin American Zonal Forum; Conquistador Hotel and Conference Center, Ciudad; event info: 502.5706.4325

Japan

Okinawa Ginowan 1-3 Jul; Japan Regional Convention 7; Okinawa Convention Center, Okinawa; www.jrcna7.org

Puerto Rico

Carolina 29-31 Jul; Región del Coquí Convención Unidos Podemos 22; Hotel Verdanza, Isla Verde; www.prna.org

Spain

Murcia 27-29 May; Spanish National Convention; Hotel Costa Narejos, Los Alcazares; www.narcoticosanonimos.es/eventos.htm

United States

Arizona 27-29 May; Arizona Regional Convention 25; Hilton El Conquistador Resort, Tucson; www.arizona-na.org/arcna or www.natucson.org

California 27-29 May; San Diego Imperial Counties Regional Convention 26; Town & Country Hotel, San Diego; www.sandiegona.org

2) 3-5 Jun; Lake County Area Ride 4 Recovery 8; Big Pines Campground, Loch Lomond; www.naride4recovery.com

Connecticut 6-8 May; Straight from the Hip Group Sponsorship Retreat 7; Incarnation Retreat Center, Ivoryton; event info: 203.592.1072

2) 24-26 Jun; East Coast Convention 15; Connecticut College, New London; speaker tape deadline: 27 Apr; www.eccna.org

Florida 29 Apr-1 May; Daytona Area Convention 12; Hotel Plaza and Resort, Daytona; www.daytonana.org

2) 27-30 May; Goldcoast Area Convention 21; Hyatt Regency Bonaventure Hotel and Resort, Weston; www.goldcoastna.org

3) 30 Jun-3 Jul; Florida Regional Convention 30; West Palm Beach Convention Center, West Palm Beach; www.naflorida.org/frcna

Georgia 19-22 May; A Little Girl Grows Up Convention 3; Renaissance Concourse Atlanta, Atlanta; www.alggu.org

2) 30 Jun-3 Jul; Midtown Atlanta Area Convention 20; Sheraton Atlanta Hotel, Atlanta; www.midtownatlantana.com

Illinois 29 Apr-1 May; Rock River Area Convention 20; Clock Tower Resort and Conference Center, Rockford; www.ragsna.org

2) 10-12 Jun; Little Egypt Area Flight to Freedom 27; McNair Group Area, Carlyle Lake; event info: 618.410.8670

3) 24-26 Jun; Chicagoland First Little Girls Grow Up; McCormick Hyatt Hotel, Chicago; www.chicagona.org

Indiana 10-12 Jun; Northeast Indiana Area Convention 2; Grand Wayne Center & Hilton Hotel, Fort Wayne; www.neiacna.com

Iowa 1-3 Jul; Iowa Regional Convention 28; Clarion Hotel, Davenport; www.iowa-na.org

Kentucky 22-24 Apr; Kentuckiana Regional Convention; Holiday Inn University Plaza, Bowling Green; event info: 270.522.5011

Louisiana 27-29 May; Louisiana Regional Convention 29; Best Western Inn & Suites, Alexandria; www.larna.org

Massachusetts 24-26 Jun; Southeastern Massachusetts Area Convention 3; Holiday Inn, Mansfield; event info: 401.559.7079

Michigan 30 Jun-3 Jul; Michigan Regional Convention 27; Best Western/Valley Plaza, Midland; www.michigan-na.org/mrcna

Mississippi 29 Apr-1 May; Foglifter's Group Campout; event info: 601.624.3694

Nevada 3-5 Jun; First Region 51 Convention; Orleans Hotel & Casino, Las Vegas; event info: 702.340.1967

2) 15-17 Jul; California-Arizona-Nevada Convention 19; Riverside Hotel & Casino, Laughlin; event info: 928.201.0313

New York 27-29 May; Heart of New York Area Convention 7; Holiday Inn, Liverpool; www.honyana.org

North Carolina 13-15 May; Down East, Inner Coastal, Crossroads Areas Convention; City Hotel and Bistro, Greenville; event info: 252.671.3329

2) 17-19 Jun; Capital Area NC Convention 22; Doubletree Hotel, Rocky Mount; www.capitalareancna.com

Ohio 27-29 May; Ohio State Convention 29; Metroplex Hotel and Conference Center, Girard; www.naohio.org

Oklahoma 1-4 Jul; Blind Faith Campout 3; Hawthorne Bluff Lake Oologah; event info: 918.200.7409

Oregon 6-8 May; Pacific Cascade Regional Convention 17; Red Lion Hotel, Medford; www.pcrna.org

2) 17-19 Jun; From Down Under to Up Above Group Timothy Lake Campout 8; Pine Point Campground, Timothy Lake;

www.pcrna.org/gww/tlc/tlccampout.htm

Pennsylvania 22-24 Apr; Greater Philadelphia Regional Convention 26; Radisson Hotel/Valley Forge Convention Center, Valley Forge; www.naworks.org

2) 29-31 Jul; First Diamonds in the Rough Women's Convention; Radisson Greentree, Pittsburgh; event info: 412.867.0394

South Carolina 13-15 May; North Central Carolina Area Campout Woodstick 24; Kings Mountain State Park, Blacksburg; event info: 864.529.2332

South Dakota 16-18 Sep; South Dakota Regional Convention 14; Ramkota Hotel Best Western, Rapid City; sdrna.com

Tennessee 22-24 Apr; Knoxville Area First Annual Convention; Crowne Plaza, Knoxville; event info: 865.405.5133

Texas 28-30 May; Duncanville Group National Old School Speaker Jam 8; Radisson Hotel & Suites - Dallas Love Field, Dallas; event info: 214.243.3088

Utah 3-5 Jun; High Uintah Area Celebration of Recovery 25; Western Park, Vernal; event info: 435.790.0982

2) 24-26 Jun; Southern Utah Area Convention 4; Best Western Abbey Inn, Saint George; event info: 435.668.5216

3) 15-17 Jul; Utah Region Campvention 28; Whiting Campground, Mapleton; www.cuana.org/FLYER/campvention.pdf

Vermont 18-21 Aug; Green Mountain Area Back to Basics Campout 27; Wallingford Boys Camp, Wallingford; www.gmana.org

Washington 27-29 May; Washington/Northern Idaho Regional Convention 26; Hilton Hotel, Vancouver; www.wnirna-reg.org

Wisconsin 20-22 May; Inner City Area Convention; Best Western Hotel, Milwaukee; event info: 414.698.0978

2) 3-5 Jun; Big Rivers Area I Can't, We Campout 7; Wildcat Mountain State Park, Ontario; www.bigriversna.org

Wyoming 13-15 May; Upper Rocky Mountain Regional Convention 12; Ramada-Plaza Riverside, Casper; www.urmrna.org/convention.html

NA Way Magazine Subscriptions update

The October 2010 NA Way Magazine was the final automatic mailing from the then-existing database. Many of you have re-subscribed or e-subscribed, and we thank you for responding so quickly.

Individuals, groups, or service committees can e-subscribe or re-subscribe. We are trying to save NA funds wherever possible and electronic subscriptions are a great way to do that, but we realize many people don't have access to a computer. Those who have been receiving paper copies can still choose the paper version if they feel they need it. We are continuing to translate the magazine into Farsi, French, German, Portuguese, Russian, and Spanish.

To e-subscribe or re-subscribe, please visit us at www.na.org/subscribe. Individuals, groups, service committees, or organizations that need multiple paper copies, may follow the "multi-copy subscriptions" link or email fsmail@na.org.

The electronic subscription reduces distribution costs, saving fellowship funds for other uses. The e-version also offers access to additional content and features not available in the paper version. Please share this information with others in your groups and service bodies. Thanks for your help and for being a part of The NA Way Magazine.



Members interested in being considered for nomination at the 2012 WSC will want to update their World Pool Information Form by 31 August 2011.

The online version can be found at www.na.org/?ID=HRP-wpif-default

マリア・パポイラ
ポ・ジュアンジョ・M

へえ、みんな、
「ミーティングは禁煙」
のほうがいいのね。



こうなったら、わたしも
覚悟を決めさせてもら
うわよ！



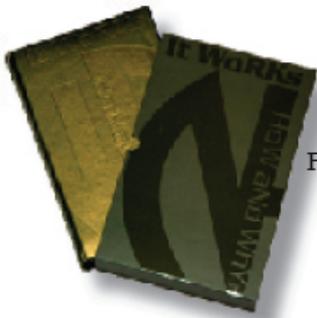
来週、投票で決めよう
じゃない。こっちには強
い味方がいっぱいいる
んだから。



NA Way に最近登場するようになった「ゼ・カルディンホ」のことは、みなさんもお存じだろう。回復しつつもまだ頭が混乱しているアディクト。かっこつけて、正直なふりをし、おもしろい人物とみせかけていても、イヤミな性格が「影」のようにつきまとい、皮肉なツッコミを入れる。そして、今月はその友人が登場する。このマリア・パポイラ（通称メアリー・ポピー）もやはり「ゼ」と同じで、「現実が見えなくなってしまう」ことがままたり、ポルトガルのNAで発行されているニュースレター『セレンディデイト』でおなじみだ。

『セレンディデイト』の許可を得て転載

NAWS PRODUCT UPDATE



It Works: How and Why Gift Edition

Featuring an iridescent green and gold cover with a debossed NA logo, and complementary gift-box sheath.

Item No. 1142 Price US \$15.75

Bronze Medallions

Now available in 51 through 55 years.

Item No. 4351-55 Price US \$2.75

Spanish

Commemorative Basic Text
Sixth Edition

Narcóticos Anónimos

Item No. CS-1103 Price US \$25.00

In Times of Illness, Revised

Cuando estamos enfermos

Item No. CS-1603 Price US \$2.75



Color Vinyl Posters and Banners

The Twelve Steps, Traditions, and Concepts
Item No. 9080 series (35" x 50") and 9081 series (28" x 40")

A Vision for NA Service

Item No. 9085 (36" x 36") and 9086 (28" x 28")

World Regional Meeting Map

Item No. 9090 (5' x 7') and 9091 (45" x 63")

Literature Timeline

Item No. 9095 (2.75' x 9.5') and 9096 (2' x 7.25')

Hawaiian

Welcome Keytag

Item No. HAW-4100 Price US \$0.45

Danish

IP #24: *Penge har betydning Selvforsyning i NA*

Item No. DK-3124 Price US \$0.48

IP #28: *Finansiering af NA-service*

Item No. DK-3128 Price US \$0.32



Hindi

It Works: How & Why ;g dke djrk gS dSlS vksJ D;ksa

Item No. HI-1140 Price US \$7.70

Italian

NA: A Resource in Your Community, 2010 Version

NA: Una risorsa nella società

Item No. IT-1604 Price US \$0.32

IP #13: *Da giovani dipendenti, per giovani dipendenti*

Item No. IT-3113 Price US \$0.26

IP #27: *Per i genitori o i tutori dei giovani in NA*

Item No. IT-3127 Price US \$0.26



French

NA: A Resource in Your Community, 2010 Version

NA : Une ressource près de chez-vous

Item No. FR-1604 Price US \$0.32

Greek

Introductory Guide to NA

*Μια εισαγωγή στους
Ναρκομανείς Ανώνημους*

Item No. GR-1200 Price US \$1.70



*Information about NA
Informazioni su NA*

Item No. ZPRIT1002 Price US \$0.25



Nederlands

IP #15: *Voorlichting en het NA-lid*

Item No. NL-3115 Price US \$0.21

*An Introduction to NA Meetings
Een kennismaking met
bijeenkomsten van
NA-Anonieme Verslaafden*

Item No. NL-2201 Price US \$0.21



Norwegian

*Just for Today
Bare for i dag*

Item No. NR-1112 Price US \$7.70

Polish

IP #12: *Trójkąt własnych obsesji*

Item No. PL-3112 Price US \$0.21

IP #19: *Samoakceptacja*

Item No. PL-3119 Price US \$0.21

Urdu

IP #1: *کون، کیا، کیسے اور کیوں*

Item No. UR-3101 Price US \$0.21



COMING SOON

For release dates please check our online Product Catalog:

WWW.NA.ORG/?ID=CATALOG-PRODUCTS

Heat-Sensitive Mug

More will be revealed. Our message, "...that an addict, any addict can... lose the desire to use..." is artfully printed on this handsome black mug. Add a hot beverage and the unique artwork from the title page of the Limited Edition Commemorative Basic Text is slowly revealed in full color.

Item No. 9416 Price US \$15.00



"Living Clean: The Journey Continues" Approval Draft

will be available late April 2011 priced at \$8.50 including shipping & handling and any applicable taxes.

Item No. 9146 Price US \$8.50

Literature Price Increase

Effective 1 July 2011, a 5% across-the-board price increase will be implemented on all of our inventory items, *except* the Basic Text.

